

3. 1 緊急市民集会「石木ダム再評価」

開会挨拶

皆さん、こんにちは。いま日本中が新型コロナのことでパニック寸前になっています。全国の学校が一斉休校にまでなっている中で、なぜ集会を開催するのかとの批判の声もあがるかもしれない。主催者としても悩みました。皆で話し合った結果、私たちが会場の消毒をしよう、参加者には入り口で手の消毒をしてもらおう、飛沫感染を予防するために発言者にはマスクの着用をお願いしよう等々、万全の対策をとって、実施しようと決めました。何故そこまでして、今この集会をやらねばならないのか、それをこれからお話します。

今日のテーマは「石木ダム再評価」です。ここにいらっしゃる皆さんは、石木ダムのことは既によくご存じだと思います。しかし、再評価って何でしょう？詳しく言うと、公共事業再評価制度と言いますが、それってどういう制度で、なぜ作られたのか、ご存知でしょうか？

今から23年前の平成9年に「公共工事コストの縮減対策に関する行動指針」が閣議決定され、事業採択後一定期間が経過した後も未着工又は継続中の事業を対象とする再評価システムの導入が指示されたのですが、このシステム導入のきっかけとなったのは、北海道知事堀達也氏による行政改革だったそうです。堀知事は年頭のあいさつで、このように述べておられます。

これまでのような右肩上がりの経済発展から、成熟社会へと転換する中で、世の中の変化は、ますますその流れを早めていきます。昨日まで正しかったことが、今日も明日も正しいとは限りません。

これからは、決して従来の延長線上でものごとを考えるべきではありません。変革の時代の中で、社会状況も変化しています。私は、「時のアセスメント」という考えを皆さんに提案しようと思います。

時の経過の中で、もう一度立ち止まってみる、そして、必要のない事業や効果の薄れたものは、大胆に見直す。そうした仕組みを道庁の中に確立しようと思います。

素晴らしいですね！このような発想のもと点検した結果、ダムなど6つの事業の中止や見直しが決まり、公共事業費の削減に繋がったのだそうです。

つまり、再評価とは、無駄な公共事業の削減、これが目的だったんですね。ところが、この北海道知事さんのような志の高い方はなかなかおられなくて、大方が、一度決めた事業は何が何でもやり通そうとする方々が多いようで、残念ながらここ長崎はその典型かもしれませんね。イサカン、新幹線、石木ダム。どれをとってもお金と時間の無駄遣い。と、知事を批判するのは簡単ですが、その知事を選んでいるのは私たち県民なので、私たちが変わらねばならないのですね。

石木ダムは長崎県と佐世保市の共同事業です。佐世保市がやめたい！と言えば、石木ダムは止まります。このダム事業に353億円ものコストを負担している私たち佐世保市民にとって、本当に必要なダムなのか、私たちがもっともっと関心を持って、考え、判断することが必要です。そのためには事実、本当のことを知らねばなりません。

今回の佐世保の再評価はどうだったのか？3回の委員会全てを傍聴した者として皆さんにお伝えした

いことが3つあります。

1つ目は、大袈裟かもしれませんが、民主主義の危機を感じました。先ほど言ったようにこの事業費を払っているのは私たち市民県民です。私たちが納得してこそその公共事業ですが、今回はそんな私たちは蚊帳の外でした。委員会を傍聴することも許されず、資料も渡してもらえませんでした。こんな横暴なやり方は初めてです。

2つ目は、第三者の意見が得られていないということです。再評価の結論を出すのは事業者である水道局ですが、再評価にあたっては、第三者の意見を聴くことが義務付けられています。ところが、今回再評価を諮問された委員会は第三者とはとても言えません。なぜなら、この委員会は水道局付属の委員会で佐世保市上下水道事業経営検討委員会と言います。予算や決算だけでなく、水道ビジョンの策定にも関わっています。水道ビジョンとは、水道事業の今後の方針をまとめたものですが、その中に石木ダム建設促進が謳われています。石木ダムは早く建設すべし！と言っている委員会が、石木ダムは止めましょうと言うわけがありません。また、その委員の中には「石木ダム建設促進佐世保市民の会」の副会長もいます。とても中立な委員会とは言えません。そのことを私たちは何度も指摘して、この委員会に再評価を諮問すべきではないと言いつけてきたのですが、全く無視されてきました。そして、結果は案の定、石木ダム事業継続と答申しました。

3つ目は、その事務局案の中身です。石木ダムが必要だと言うためには水不足だと言わねばならない。そのためにどんな方法を使ったのか、よくもこんなにあの手この手を考えだすなーと感心するほどです。

その具体的な話をこれから嶋津先生にご説明いただきます。なぜあんなに水需要予測値が跳ね上がるのか、なぜあんなに大きな費用対効果が見込めるのか、その謎を解き明かしてくださると思います。しっかりお聞きください。その後質疑応答の時間も十分用意していますので、わからないことは遠慮なくお尋ねください。

そして、最後に集会宣言を採択できればと思っています。私たちは、水道局が国へ事業継続と報告する前に、再評価のやり直しを訴えたいと思っています。今日ここで今回の再評価について学び、理解された皆さんが賛同されるなら、その集会宣言も合わせて提出したいと思っています。水道局長は国への報告はなるべく速やかにおこなうと述べています。だから私たちも集会を急がねばならなかったのです。それが、あらゆるイベントが自粛される中で、この緊急集会を開催させて頂いた理由です。

お集まりいただいた皆様に深く感謝するとともに、これからの2時間が、皆様にとっても実りあるひとときとなりますよう祈りつつ、開会の挨拶とさせていただきます。